

お盆 Part 2



クルクマ

お盆は先祖の霊を迎えて供養する行事。先祖の霊があつた世から帰ってきて家族と一緒に楽しいひとときを過ごし、また帰っていくという日本古来の信仰に基づく行事です。

旧盆

明治6年7月13日に山梨県や新潟県などが旧盆の廃止の勧告を行い、旧盆は次第に少数派になりつつありました。ただし、沖縄県では現在でも旧盆が主流であり、そのためお盆の日程は毎年変わり、時には9月にずれ込むこともあります。他にも関東北部、中国地方、四国地方、九州地方、南西諸島などでも行われることがあります。

7月盆

東京、神奈川、北海道函館市や根室市、佐呂間町の若佐地区、北陸の石川県金沢市、静岡県都市部などの地域では現在も7月盆が一般的で、7月盆に墓参りなどの行事も行いません。お盆用具の販売は専らこの時期に行われています。

8月盆

北海道、東北地方、新潟、長野、関東南部、関西地方などを中心に全国的に8月盆が多くなっています。

その他

また岐阜県中津川市付知町、中津川市加子母は8月1日に行いません。

迎え火と送り火

迎え火とは13日の迎え盆の夕方に、先祖が迷わず帰ってこられるように焚く火のことです。家の前で麻の茎を乾燥させたおがらを炊くのが一般的ですが、お墓まで迎えに行くところもあります。15日または16日の送り盆に、先祖の霊を帰すために焚くのが送り火。盆送り、送り盆などとも呼ばれます。町全体でかがり火を焚くところもあり、京都の五山送り火が有名です。この迎え火と送り火の習俗は

江戸時代に盛んになったもの。川や海に灯笼を流す行為や京都の大文字の送り火もまた、盆の送り火の一つです。

精霊棚

盆の期間中に先祖を祀ったものですが、精霊棚、先祖棚、盆棚などという棚を作って、位牌、線香、花、野菜や果物、団子などを供える習俗がありました。

同時に餓鬼棚（がきだな）と呼ばれる無縁仏を供養する棚もあったそうです。今と違い昔は行き倒れて亡くなる人も多く、祀られることのない身元のわからない霊魂は人々に様々な災難をもたらすものと恐れられたことが、餓鬼棚が無縁仏を弔うという習俗を生んだと考えられています。

現在は精霊棚や餓鬼棚などを作るところは少なくなっており、仏壇の前に小机を置いたり、仏壇の中で祀ったりするのが一般的。朝昼晩3回、水やお茶、ご飯を替え、さらに季節の果物や野菜、餡のついた団子、そうめん料理、白玉団子などを供えます。

なすやきゅうりで牛馬を作って供えるのもお供えもの変形で、先祖が馬や牛に乗ってこの世に帰ってくると考えられていることからなすやきゅうりに割り箸を刺して牛と牛に見立てたものをお供えします。キュウリは馬に例えられ、なすは牛に例えられ、盆に帰ってくるご先祖様たちが「来るときは馬に乗って早く、帰りは牛でゆっくり」という願いを表現しています。こちらは現在でもまだ多くの地方で行われています。

お盆にオススメのお花②

ミソハギ

お盆の花として有名なミソハギは、精霊花、仏様花、盆花とも言われ、お盆に欠かせない花です。古い記録によると、地域によりミソハギの花穂に水に含ませて供え物に水をかける風習があり、それが涙（ミソギ）を連想させることからミソギハギと呼ばれ、いずれミソハギになったとされます。この花を飾ることで穢れを祓うことができると言われます。

オミナエシ

オミナエシも日本人に昔から馴染みのあるお盆の代表的な花の一つ。秋の七草の一つで供花として多く利用されます。「おみな」は「女」の意、「えし」は古語の「へし（圧）」で、美女を圧倒する美しさから名付けられました。

菊

西洋において菊は墓参りに用いられるため、日本でもこの影響を受けて葬儀の献花や仏様の供花に用いられることが多くなりました。花保ちがとても良いので、長く美しいお花をお供えすることができます。

スターチス

スターチスもお盆にお供えする花束によく使われています。スターチスの紫はお釈迦様の座禅の足を意味しており、昔は仏様や位の高い人にしか使いませんでしたが、亡くなった人へのお供えには紫のスターチスを入れるようになったというお話もあります。

クルクマ

クルクマはお盆に関係ない花のように思えますが、近年では、ちょうど時期がお盆と合うこと、またその色みと咲き方がハスに似ていることからお盆にハスの代わりとして使用されることも多くなっています。

キキョウ

キキョウもお盆のお花。そしてオミナエシと同様に秋の七草の一つです。つぼみは花びら同士が風船のようにびったりとつながっているため、英語ではBalloon flower.

トルコギキョウ

お盆の花としても定番化してきました。

リンドウ

「悲しんでいるあなたを愛する」という花言葉からお盆のお花として使用されるリンドウ。白いお花の中に、紫色や青色のリンドウを一輪でもプラスするだけでアクセントとなり人気です！

アスター

別名は蝦夷菊。菊の仲間なので、こちらもとても花保ちの良い品目です。

グラジオラス

菊などの供花に合わせることでゴージャス感の出る花です。

リヤトリス

日本に渡来したのは昭和初期で、当時は専らお盆用の盆花として使用されていたそうです。まっすぐなラインが特徴です。

鉄砲ゆり

こちらも供花として多く使われるお花。西欧でも冠婚葬祭で好まれるそうです。